



学校だより

5月号

令和4年4月28日

横浜市立南小学校

校長 薄田 秀明

「本に親しむ」

がっこうちょう うすだ ひであき
学校長 薄田 秀明

しんりよく あざ きせつ しんねんど げつ あたら かんきょう こ すこ
新緑の鮮やかな季節となりました。新年度がスタートして1か月、新しい環境に子どもたちも少し
ずづ慣れ、元気のよい声が校舎の中に、校庭に響き渡っています。

ひごろ かつきあふ みなみしょう きょうしつ がっこうじゅう しず
日頃、活気溢れる南小の教室ですが、学校中がシーンと静まりかえることもあります。それは、
もくようび あさ せってい どくしょ じかん えがお かた あ すがた すてき しんけん まなざ
木曜日の朝に設定されている「読書」の時間です。笑顔で語り合う姿も素敵ですが、真剣な眼差し
で本を読んだり、お話を聞いたりする姿もまた素敵です。

さて、読書のもたらす効果については、多くの研究や実践によって明らかになっています。とかく
どくしょ せいとてき う みな イメージをもちますが、実はかなりアクティブ(能動的・積極的)な営み
なのだそうです。何気なく読んでいる間にも脳の中では文字を見る視覚や言語の認知など、その
機能が総動員されフル回転しているとのこと。まさに、読書中の脳は、汗をかくほど働いているので
す。その結果、言語力や想像力などの力が高まります。つまり、読書は脳を鍛え、その働きを高める
のです。

また、読書は親子や仲間との絆もつむいでくれます。小さい頃から子どもに読み聞かせをするこ
とは、しゅうちゅうりよく まな こくしん はぐく おやこ きずな ふか かわ おやしん せいちよう
と、集中力や学ぶことへの好奇心を育むとともに、親子の絆も深めます。加えて、親自身も成長し
ます。

ことし みなみしょう こ いっそうどくしょず こ かんが
今年も南小の子どもたちをより一層読書好きの子どもたちにしていきたいと考えております。
「子ども読書週間(4月23日～5月12日)」になっており、学校図書司書とともに連携した取り組みを
ぜひ進めてまいりたいと思います。

みなみしょうがっこう ちゃくにん げつ たほんとう おお おとな て つつ
南小学校に着任して1か月经ちますが、本当に多くの大人の手によって包まれていることがわか
ります。がっこう ほごしや みなさま ちいき みなさま いったい がっこうきょういくもくひよう
学校、保護者の皆様、地域の皆様が一体となって、学校教育目標にもありますように、さまざま
な人々との豊かなかわり合いを大切にしながら、一人ひとりの子どもたちが、生き生きとひとみ
を輝かせて通う学び舎を目指していきたいと思っています。今月も本校の教育活動にご理解とご
しえん ねが
支援をよろしくお願いいたします。